

# 世界6か国6名の研修員が 大木町で「浄化槽汚泥の処理と有効利用」 について学びます。

現在、JICA九州センターでは福岡県内各地等で、JICA 課題別研修「分散型污水处理システム導入・普及」コースを実施しています。

開発途上国では、特に都市部における人口増加や居住地の拡大に伴い未処理の生活排水等が河川や地下水に流入し、安全な水資源の確保、公衆衛生上、生活環境上等の諸問題が顕在化しています。

そこで、莫大な費用と長期的なインフラ整備が必要となる集合型の公共下水道と比べ、安価で即効性のある分散型の污水处理である**合併浄化槽**を生活排水対策の一つとして位置づけ、途上国における快適な生活環境の確保と河川等水質の環境改善を図る研修を実施中です。

本コースは、污水处理に携わる技術者が、浄化槽技術の豊富な知見をもつ大木町などの協力を得て、分散型污水处理システムをその教育・普及方法を含めて習得し、自国の問題解決を目指します。収集した浄化槽汚泥などの廃棄物の処理と有効利用についてどのような学びを得るか、是非、取材を検討ください。

■研修受入先： 公益財団法人 北九州国際技術協力協会

■研修参加者： 6カ国 6名

インドネシア、フィジー、ブラジル、エチオピア、ラオス、レバノン

■取材対象日程： ※日本語での取材が可能です。

講義・視察先	日時	場所
浄化槽汚泥の処理と有効利用	8月31日（金）10:00～12:00	大木循環センターくるるん

（福岡県三潴郡大木町 大字横溝 1331-1）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 研修業務課 担当：藤野、柴田

TEL：093-671-8355 e-mail：Fujino.Ai@jica.go.jp